



九々いらす珠算に就て

吉田 松雄

十三

解説

實の單位より二けた下つて商の單位とすることは一〇〇倍したことになる

100-99=1であるから九九倍する所を一〇〇倍したのであるから一倍分だけ引かねばならぬ

此の方法は百倍して一倍だけ引く計算法である

例一

77×98=7546

計算法

法の位だけ實の末位より下げて單位とする

一、補數二と實七を見合せ 2×7=14を八二より引く

此の時のばん面788

二、次に補數二と實七を見合せ 2×7=14を(八二)より引く

此の時のばん面7546

例二

77×99=77123

計算法

法の位だけ實の末位より下げて單位とする

一、補數二と實七を見合せ 2×7=14を八二より引く

此の時のばん面788

二、次に補數二と實七を見合せ 2×7=14を(八二)より引く

此の時のばん面7546

臺灣の正月

伊東

之れ皆華儀の馳まか、寺へ上げるのか、一方坊主と、鐘が、鐘太鼓や、笛やの様なものを吹き立て佛の居る道場の中を廻つて居る、結婚の行列も、葬送の行列に似て居る、初詣の時ほど、財産の存無にも依るが十幾つの興

行發日四十月二

文一...

...

此の時のばん面六四六六

次に實六と法七を見合せ 6×7=42を九々に依り實の七の個所を單位として加へる、六六八八

自乘數を求むる掛算一、自乘數とは法實とも同數であります、此の掛算は材木商に於て多く使用されて居ります、若し材木商さんにて此の方法が未だ使用しなされて居りしならば、只今が最、都合よく要するに法より使用して載さぬ

迅速にて簡便の上なくと實を掛合はして(末位正確に出ます)

より)順次引けばよいので

補數乘法練習問題

46×99=37×98=

26×97=57×96=

44×9=36×95=

367×98=486×99=

783×97=489×99=

2367×998=補數12

4676×997=補數25

例三

77×88=6888

實七六法八八(法八八を計算に當つては八七とする)

一、實七と法八を見合せ 7×8=56を九九に依り實の七の個所を單位として加へる

此の時のばん面六六六六

二、實六と法七を見合せ 6×7=42を九九に依り實の六の個所に依り實

二月二日再度新竹から竹の田舎道も同じけれど或處が郡下でも第八位の人口で

梅が香に月の曇りや西行忌

村の児が十瓶のかけに餅入れて、丘の麥畑うたつて通る

後藤 史郎

浪人長屋 (13) 日鼓武志作 月草童子書

絶望

源三郎は手を後へ廻し泣いて苦にぎりしめるやうにして上から下へ脚紳と足袋に合んだ水を、わづかながらしは

源三郎は黙々として女の肩を強くたたきしめてゐた

水は膝頭のあたりまで不気味に迫つて来てゐた、兩足が凍るばかり冷えて来た

源三郎は小水の跡を抱上げようとして、小水は

「もつたいなうござんす。そんな事...あなたと一緒にいまして死なして下さいますか?」

源三郎は先刻こゝへ落ちて途中で、ひんやりした空気をさつとある一點でかんざつとしたを思ひ出した

「あつぬけ穴が」

「小水は歌はげしげに叫んで

「ありましたか?」

「つめたい風が通つてゐる底からもの凄ひ勢ひでま

してゆく水に壓されて、ト部の、氣がその抜け穴からかへに沿つて一まはりほど逃れてゐるのだらう

たしかに外のどこかに通水はもう源三郎のひざをしてゐる穴にちかひはない



源三郎は後向きになつて、だんだんに上へのぼつてゆく、外はないが、それとも水が穴一杯に満たされ、草鞋もぐつしより水をよく吸ひ込んで、おとをたて、滴り落ちてゐる

「源三郎さま!」

「もう駄目です、あたし死な

此處の人は同じ臺灣人でも全々臺北あたりの臺灣語が通じない、それは土と玉石が多く、河等で河東人がこの附近に住んで居るが、一朝雨降りに會へば河水満々となるそうなのである、人間の性格として、廣東人は内地人の様に規律も正しく、女等も働

源三郎は後向きになつて、だんだんに上へのぼつてゆく、外はないが、それとも水が穴一杯に満たされ、草鞋もぐつしより水をよく吸ひ込んで、おとをたて、滴り落ちてゐる

源三郎は黙々として女の肩を強くたたきしめてゐた

水は膝頭のあたりまで不気味に迫つて来てゐた、兩足が凍るばかり冷えて来た

源三郎は小水の跡を抱上げようとして、小水は

「もつたいなうござんす。そんな事...あなたと一緒にいまして死なして下さいますか?」

源三郎は先刻こゝへ落ちて途中で、ひんやりした空気をさつとある一點でかんざつとしたを思ひ出した

「あつぬけ穴が」

「小水は歌はげしげに叫んで

「ありましたか?」

「つめたい風が通つてゐる底からもの凄ひ勢ひでま

してゆく水に壓されて、ト部の、氣がその抜け穴からかへに沿つて一まはりほど逃れてゐるのだらう

たしかに外のどこかに通水はもう源三郎のひざをしてゐる穴にちかひはない

源三郎は後向きになつて、だんだんに上へのぼつてゆく、外はないが、それとも水が穴一杯に満たされ、草鞋もぐつしより水をよく吸ひ込んで、おとをたて、滴り落ちてゐる

「源三郎さま!」

「もう駄目です、あたし死な

此處の人は同じ臺灣人でも全々臺北あたりの臺灣語が通じない、それは土と玉石が多く、河等で河東人がこの附近に住んで居るが、一朝雨降りに會へば河水満々となるそうなのである、人間の性格として、廣東人は内地人の様に規律も正しく、女等も働

舊正初賣ノ景品御準備

本年ハ漆器ノ他ニ小雜貨類モ取揃ヘ御便宜ヲ計リ極力勉強奉仕致シマス故是非本年モ御愛顧ノ程ヲ御願ヒ致シマス

必ズ格好ナ品ガ有リマスカラ御照會下サイマセ

平町三丁目北邊通

各國産漆器

記念賞品類

進物贈答品類

景品賞品類

（小役員、外交員、至急募集）

共榮漆器店

電話開通

平局五七七番

入山坑務所

大景品付大賣出し

時計と大賣出し

根本時計店

電話六〇七番

阿部石炭商店

電話三七七番

吉例初賣

二月十五日 (午前二時)

舊正月二日、三日

大景品呈上

お待たせ居ります

平町五丁目(釜屋通)

時計眼鏡

貴金屬類

香燭

（ピクスター・コンペイヤ・洋行店）

電話一九五

新築感謝

萬年筆大賣出し

謝感築新

品質第一

電話二六八番

平牛乳舎

平町・九品寺前

中野洋品店の初賣

大特價・景品セール

山崎時計店

平町五丁目新川町通り

